平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名　藤森工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7917　　URL　http://www.zacros.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）藤森　明彦
問合せ先責任者（役職名）取締役 経理・総務・人事担当　（氏名）吉野　彰志郎　TEL 03-6381-4211
四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	62,445	6.6	4,196	11.8	4,263	12.1	2,369	12.6
23年3月期第3四半期	58,552	6.3	3,751	25.7	3,804	26.9	2,104	16.7

（注）包括利益　24年3月期第3四半期　2,170百万円　（9.5%）　23年3月期第3四半期　1,982百万円　（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	137.43	136.89
23年3月期第3四半期	121.65	121.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	75,264	31,933	41.7
23年3月期	72,519	30,434	41.1

（参考）自己資本　24年3月期第3四半期　31,371百万円　23年3月期　29,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
24年3月期	—	13.00	—		
24年3月期（予想）				13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,300	4.2	4,540	△3.9	4,570	△5.9	2,740	3.1	159.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
（注）詳細は、（添付資料）3ページの「2. サマリー情報（その他）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	17,312,760 株	23年3月期	17,312,760 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	114,076 株	23年3月期	13,982 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	17,244,563 株	23年3月期3Q	17,298,882 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の国内経済は、３月に発生した震災の影響で落ち込みましたが、企業のサプライチェーンの復旧等に伴い緩やかな景気回復に転じました。しかし、その後 欧州債務問題の再燃、円高の進行及びタイの洪水等を背景に輸出の減少、生産面の制約増大等の影響を受けたことから、年末にかけて回復のペースは大きく鈍化する展開となりました。

このような環境の下、情報電子事業を中心に一部関連業界の生産調整及び円高等の影響を受けましたが、グループ全体において売上高は概ね堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

損益面では、材料単価の上昇並びに減価償却を含む固定費増加の影響を受けましたが、グループ全体では売上増加に伴い採算が改善したことに加え、生産効率の向上に引続き努めたことなどから、前年同期比で増益となりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間における業績は、売上高624億45百万円（前年同期比6.6％増）、営業利益41億96百万円（前年同期比11.8％増）、経常利益42億63百万円（前年同期比12.1％増）、四半期純利益23億69百万円（前年同期比12.6％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（ライフサイエンス事業）

生活用包装材において、粉末洗剤から液体洗剤への切替わりや粧業分野のパウチ導入等に伴う需要を捉えた結果、詰替用スタンディングパウチの販売が好調に展開しました。医薬・医療用包装材では、商品販売のスポット的な受注が前年比で減少しましたが、医薬用の剥離フィルム、及び今期より販売を開始した非吸着包材「ＮＩフィルム」を用いた薬液用バック等の製品売上は堅調に推移しました。

この結果、売上高は325億円（前年同期比4.3％増）となりました。

（情報電子事業）

情報記録用材においては、パソコン市場の需要減に伴う生産調整により、受注が減少したことなどから、売上は減少いたしました。一方、偏光板用プロテクトフィルムについては、当第１四半期の終盤から始まった液晶ディスプレイ用部材での生産調整の影響を受けましたが、今期より稼働を開始した昭和事業所における新設機の生産増加が寄与し、売上は増加となりました。

この結果、売上高は225億77百万円（前年同期比5.6％増）となりました。

（建築資材事業）

建材関連において、首都圏の集合住宅向けの床等構造部材の受注が伸びたことに加え、首都圏大型物件向け空調用配管並びに煙突工事の売上が大幅に増加いたしました。

この結果、売上高は73億66百万円（前年同期比22.7％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、有価証券等が減少しましたが、昭和事業所・三重事業所を中心とした新設備取得に伴って固定資産が増加したことに加えて受取手形及び売掛金等が増加し、前年度末に対して27億44百万円増加の752億64百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金、未払法人税等が減少しましたが、支払手形及び買掛金、短期借入金は増加したことなどにより、前年度末に対して12億45百万円増加の433億30百万円となりました。なお、短期借入金の増加は１年以内返済の長期借入金が短期借入金に含まれることなどによるものです。

純資産は少数株主持分４億96百万円を含めて319億33百万円となり、自己資本比率は41.7％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済情勢については、復興需要の本格化による景気の持ち直しが期待される一方で、円高や欧米を中心とした海外経済の減速等の影響から輸出が伸び悩み、景気が下振れるとの懸念も根強く、依然として先行きの不透明な状況が続くものと予想されます。

情報電子事業では、液晶テレビ、パソコンの需要減を背景にした液晶ディスプレイ用部材やパソコン等のＩＴ関連部材の生産調整が第４四半期に入り一巡し、売上も徐々に回復に向かうものと見込まれます。ライフサイエンス事業の業績は概ね堅調に推移してきましたが、第４四半期に入り、季節要因による販売減にタイ国内連結対象子会社の生産停止も加わり、売上の減少が予想されます。

なお、平成23年10月にタイで発生した大規模洪水により、当社グループのタイ国内連結対象子会社の事業所は浸水し操業を停止しましたが、排水は11月中に完了し、インフラ、製造設備の復旧に向けて鋭意取り組んでおります。なお、固定資産やたな卸資産などの被害額及び被災した対象資産への保険金受取額は現段階では未確定であります。

通期の連結業績につきましては、現時点においては平成23年５月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

当社グループでは、高付加価値製品の販売強化を更に推進すると共に、全部門にわたり一層の生産性改善、コスト削減を徹底するなど、引続き業績の向上に取り組んでまいります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,924	5,394
受取手形及び売掛金	24,845	27,975
有価証券	3,058	―
商品及び製品	2,079	2,556
仕掛品	1,134	1,156
原材料及び貯蔵品	1,702	1,693
繰延税金資産	923	381
その他	995	880
貸倒引当金	△43	△13
流動資産合計	39,620	40,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,776	29,703
減価償却累計額	△13,619	△14,392
建物及び構築物（純額）	12,157	15,311
機械装置及び運搬具	37,230	41,246
減価償却累計額	△30,428	△31,926
機械装置及び運搬具（純額）	6,802	9,320
工具、器具及び備品	4,016	4,247
減価償却累計額	△3,555	△3,670
工具、器具及び備品（純額）	461	576
土地	5,281	5,341
建設仮勘定	4,533	1,145
その他	11	15
減価償却累計額	△4	△6
その他（純額）	6	8
有形固定資産合計	29,243	31,704
無形固定資産		
その他	168	150
無形固定資産合計	168	150
投資その他の資産		
投資有価証券	2,301	2,133
繰延税金資産	594	531
その他	720	977
貸倒引当金	△129	△258
投資その他の資産合計	3,487	3,383
固定資産合計	32,899	35,238
資産合計	72,519	75,264

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,534	19,806
短期借入金	6,049	9,021
未払金	3,727	4,374
未払法人税等	1,653	93
賞与引当金	1,278	574
役員賞与引当金	72	72
その他	1,151	1,555
流動負債合計	30,468	35,498
固定負債		
長期借入金	6,680	3,008
繰延税金負債	295	199
退職給付引当金	2,918	3,021
役員退職慰労引当金	517	511
その他	1,204	1,091
固定負債合計	11,617	7,832
負債合計	42,085	43,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,723	4,723
資本剰余金	5,778	5,778
利益剰余金	19,055	20,976
自己株式	△10	△116
株主資本合計	29,546	31,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	388	304
為替換算調整勘定	△151	△295
その他の包括利益累計額合計	236	8
新株予約権	32	65
少数株主持分	618	496
純資産合計	30,434	31,933
負債純資産合計	72,519	75,264

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	58,552	62,445
売上原価	46,965	50,378
売上総利益	11,586	12,066
販売費及び一般管理費	7,834	7,870
営業利益	3,751	4,196
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	53	52
受取賃貸料	93	70
その他	172	260
営業外収益合計	331	394
営業外費用		
支払利息	189	153
貸与資産減価償却費	41	21
為替差損	9	106
その他	39	46
営業外費用合計	279	327
経常利益	3,804	4,263
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	－
固定資産売却益	2	27
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	4	27
特別損失		
固定資産売却損	318	－
固定資産除却損	27	8
関係会社株式評価損	－	9
投資有価証券評価損	4	－
減損損失	－	62
貸倒引当金繰入額	－	148
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	93	－
その他	16	9
特別損失合計	460	237
税金等調整前四半期純利益	3,347	4,053
法人税、住民税及び事業税	1,212	1,033
法人税等調整額	47	608
法人税等合計	1,260	1,641
少数株主損益調整前四半期純利益	2,087	2,411
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△16	42
四半期純利益	2,104	2,369

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,087	2,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	△84
為替換算調整勘定	△11	△157
その他の包括利益合計	△104	△241
四半期包括利益	1,982	2,170
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,001	2,142
少数株主に係る四半期包括利益	△18	28

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ライフサイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,163	21,385	6,002	58,552	－	58,552
セグメント間の内部売上高又は振替高	206	783	22	1,012	△1,012	－
計	31,370	22,169	6,025	59,565	△1,012	58,552
セグメント利益又は損失（△）	1,563	2,252	△64	3,751	－	3,751

（注）１．売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。
２．報告セグメント利益又は損失（△）の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ライフサイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,500	22,577	7,366	62,445	－	62,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	204	778	9	992	△992	－
計	32,704	23,356	7,376	63,437	△992	62,445
セグメント利益	2,260	1,714	220	4,196	－	4,196

（注）１．売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。
２．報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当社は、平成23年８月５日付で、自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）において自己株式100,000株を取得致しました。
この結果、当第３四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取りも含め、自己株式は105百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において116百万円となっております。